図書館だより



伊丹市立荒牧中学校
平成２９年６月発行

給食開始に伴い、図書館利用時間等が変更になりました。

ほんの少し早起きして、朝読用の本を借りに来ましょう。

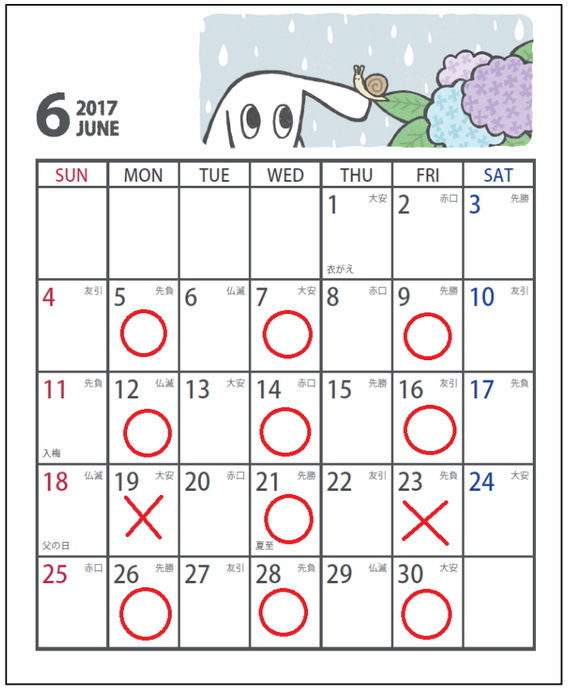
◎開館時間　朝の開館：８時０５分～８時２０分

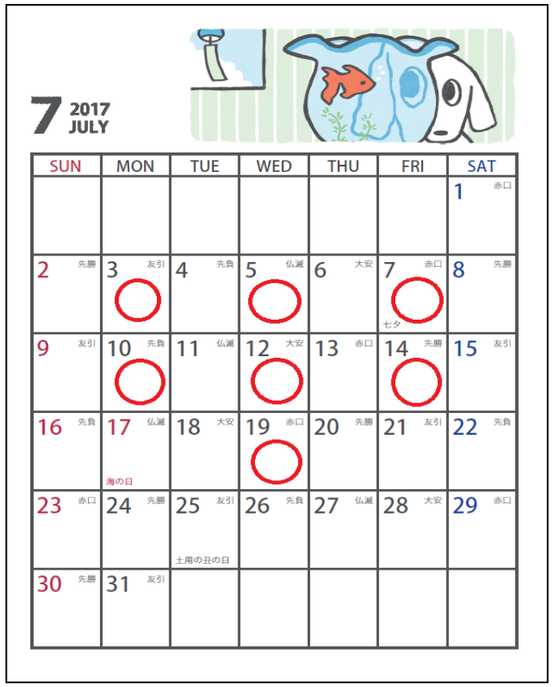
お昼の開館：１３時０５分～１３時２５分

◎開館日　月・水・金

※開館予定日は掲示板のカレンダーを見てください

◎貸出冊数・期間　貸出冊数：３冊　貸出期間：２週間





◇5月　学年＆クラス別　貸し出し冊数◇

	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	合計	累計
1年生	123	167	159	143	147			739	748
2年生	60	66	45	86	66	147		470	629
3年生	27	6	47	22	137	135	53	427	613

荒中総合計：2263冊（6月9日集計）

◇全校ベスト・リーダー◇

1位	65冊	I.K（3－3）
2位	64冊	U.S（3－5）
3位	63冊	T.H（3－6）
4位	61冊	O.S（3－5）
5位	60冊	S.M（2－4）
6位	54冊	F.R（2－2）
7位	52冊	Y.R（3－7）
8位	49冊	H.M（2－6）
9位	46冊	U.R（3－6）
10位	43冊	T.K（2－6）

☆各学年の1位から10位までの方には、学年末に『読書大賞』の「表彰状」と「特製しおり」をお渡しします☆

３月９日付の朝日新聞の投稿欄に、**「高校生まで読書を全くしなかったが、特に困ったことはない。読書が生きる上での糧になると感じたことはない。読書は各個人の趣味の範囲であり、なぜ読書量が少ないことが問題視されるかわからない。読書をしなければいけない確固たる理由があれば教えて欲しい」**という大学生からの投稿が掲載され、たくさんの意見が寄せられていました。私自身同じ思いを感じた意見を紹介したいと思います。

「本を開けば違う時代や国に行け、全く別の人生を感じることができ、そこには誰にも干渉されない自由な世界を広がっていて、たくさんの人に出会うことができる。読書は視野を広げるために役に立つもの」

「社会という大海原に出て、無人島に１人取り残された心境になった時、目の前に流れてきた瓶の中の手紙（本）を読み、自分以外の人がいるということに感動し、それが生きる糧となるのではないか」

もちろん投稿した大学生のように**「生きていく上で読書は必要ない」「先入観の押しつけだ」**という意見もありました。さて、みなさんはどう思いますか？？また図書室で聞かせて下さい^^

